

令和2年度（2020年度）第1回吹田市子ども・子育て支援審議会会議録（要旨）

1 開催方法及び日程

令和2年度（2020年度）第1回の本審議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、審議会案件資料を配布し、書面により意見等の提出を受ける形式で、以下の日程で開催しました。

令和2年	8月28日(金)	事務局から委員に資料を送付
(2020年)	9月14日(月)	資料に対する委員からの意見等提出期日
	9月29日(火)	事務局から委員に意見等に対する回答を送付
	10月6日(火)	回答に対する委員からの疑義照会期日

2 意見等提出委員

埋橋委員、林委員、渡邊委員、孫田委員、粉川委員、横沼委員、植田委員、武内委員、水木委員、高田委員、清水委員、山中委員（順不同）

3 案件

(1) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について	(6) 吹田市保育士・保育所支援センター事業の実施について
(2) 吹田市子ども・子育て支援事業計画 令和元年度施策・事業実施報告について	(7) AI入所選考について
	(8) 令和3年度保育所等利用申し込みの郵送受付について
(3) 第2期吹田市障がい児福祉計画について	(9) 令和2年度留守家庭児童育成室入室申請受付児童数について
(4) 令和2年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について	(10) 令和2年度留守家庭児童育成室の委託について
(5) 令和2年度保育所等整備の公募について	(11) その他

4 委員からの意見等（要約）とそれに対する回答

別紙のとおり

令和2年度（2020年度）第1回吹田市子ども・子育て支援審議会

案件1 特定教育・保育施設の利用定員の変更について

意見・質問等	回答
1 受け入れの量的拡大だけでなく質の担保を確実なものとした い。	受入人数の増加により、保育の質が低下することのないよう、増員分に対する職員配置状況については、施設からの報告書にて確認しております。また、福祉指導監査室による実地調査や市が行う研修への参加を促すこと等の方法により、質の担保ができるものと考えております。
2 このコロナ禍において、利用定員増はいかがなものか。 施設を増築改修された園側は、万全の対策をされているとは思 うが、この時期、少し定員を減らすべきではないか。	当該施設の利用定員の増は、施設を増築及び大規模修繕工事の完了に伴うものであり、基準上必要となる児童一人あたりの面積は確保されております。 乳幼児を長く預かる保育施設は「密」な状況を避けにくい環境ではありますが、その点是他施設と同様に、感染防止対策を徹底し、安全面に配慮した運営を行っていただくよう助言や指導をしております。
3 増築、大規模修繕完了に伴う定員増のため、異存はない。	

案件2 吹田市子ども・子育て支援事業計画 令和元年度施策・事業実施報告について

意見・質問等	回答
4 留守家庭児童育成室の民間事業者への運営業務委託を着実に進め る上での課題はあるのか。	運営業務委託を進める上での課題につきましては、指導員が一度に代わってしま うということは、児童や保護者の皆様に御不安を与えることだと受け止めてい ます。この点につきましては、選定事業者との引継ぎを丁寧に行うことにより、 少しでも早く新しい指導員に慣れ、安定した集団保育を行わなければならないも のと考えています。また、保護者の皆様に対しても丁寧な説明を心掛けてまい ります。

意見・質問等	回答
<p>5 P41に対して、5・6年生の受け入れを、全面にではなくても柔軟性をもって認める形にしたい。</p>	<p>入室児童数が大幅に増え続けており、指導員や児童の受入態勢の確保が困難な状況であることから、事業計画で計画していた5・6年生の受け入れは延期し、当分の間は4年生までの受け入れに専念せざるを得ない状況となっています。</p>
<p>6 P45の(5)、ウ 地域子育て支援について、地域には、大なり小なりの子育てに対する親の不安や孤独感・負担を抱えて生活している家庭がある。子育て広場では日常的に受け止め、親の負担感を軽減し、親と子どもの仲間づくりや成長を見守ってきた。地域によって各々あるが、そこに生活する人に密着した育児支援が子育て広場の中にある。</p> <p>補助団体であるから、とあまり行政の方からは重要視されてはいないのか。</p> <p>いつでも気軽に行ける所として、閉室するわけにはいかないと、コロナ禍の中でも感染予防対策をしながら、必死に対応している。</p> <p>P46のウ、今後の課題及び改善点の欄に、環境を充実し、多様なニーズに対応できるように努めますとあるが、その点については賛成である。</p> <p>また、多様なニーズは持ち込まれるものではなく、掘り起しも必要である。それが可能なのは、支援センターや子育て広場なのではないかと考える。</p> <p>子育て広場を増やしていただきたい。育児教室の回数を通年にするべく（訪問も可能に）増やしていただきたい。地域の方々が気軽に入出入りできるような広場や支援センターの設置についての施策を示していただきたい。</p> <p>P53のウ、子育て広場への「助成」が目的になっているのは疑問である。また、課題として「事業成果の把握が必要」と記載しているが、そのような状態なのか。</p> <p>緊急な課題でも、広場内で対応していけば良い、引いては親子をあきらめる育児になってしまうことにつながらないか。</p> <p>地域に密着することで、地域の人材ともつながる可能性はある。窓口を開け、見える形にすることが必要と考えるが、「広場増」がないのはなぜか。基本目標に照らし合わせたものの、この方向では見えてこない。</p>	<p>子育て広場につきましては、子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての喜びや楽しみを共有することで、子育てに対する不安や負担感を軽減できる地域の子育て支援拠点施設として、重要な役割を果たしていただいていると認識しております。</p> <p>地域子育て支援拠点事業につきましては、市民ニーズ調査を行い作成した「子ども・子育て支援事業計画」にもとづき、事業所数などを計画しております。本事業につきましては、市全体でニーズ量を充足していることから、現状の事業所数を維持してまいります。</p> <p>今後もいただきました御意見を参考に、地域子育て支援施策を展開してまいりたいと考えております。</p>

案件3 第2期吹田市障がい児福祉計画について

意見・質問等	回答
<p>7 もっと市民の目につくようにアピールしてほしい。概要を示し、パブリックコメントに参加しやすくしてほしい。</p> <p>特に個々の特定の家族の問題として扱われることのないよう、事前に実施の予定、実施期間、資料の提供を増やし、最大限の期間を設けていくことを希望する。</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、現在、市ホームページのパブリックコメント（市民意見募集）のページにおいて、「今後意見の募集を予定している案件」として事前のお知らせを行っており、実施する際には、市ホームページや市報等で広く周知を図ってまいります。なお、実施期間につきましては、「吹田市民の意見の提出に関する条例」に基づき、30日以上期間を設けてまいります。</p> <p>多くの方々にパブリックコメントに参加していただけますよう、分かりやすい情報の提供に努めてまいります。</p>

案件4 令和2年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について

意見・質問等	回答
<p>8 待機児童数に比べて、入所不可児童数が多い。その子供たちは、何割程度が私立の保育園や幼稚園に行っているのか。</p> <p>また、3歳児以上は全て何らかの施設に行けているのか。</p>	<p>入所不可児童には転園希望者（在籍施設あり）を多く含んでおり、その他で3歳児以上では、私立幼稚園への進級児が多く、また、3歳児未満では、育児休業延長等による自宅保育が多くなります。</p> <p>教育・保育施設に在園している割合は、3歳児で92.4%、4歳児で96.8%、5歳児で97.3%となります。3歳児は、4歳からの2年保育を検討している世帯が一定いるため、4歳児以上より割合は低くなります。</p> <p>なお、私立在園児の割合は、保育園で全体の7割、幼稚園で全体の9割となります。</p>

	意見・質問等	回答
9	<p>保育士不足は大変深刻で、そのために受入枠の縮小という事態は今後も十分あり得る。いくら保育所を整備しても、保育士がいなければ問題解決にはならない。民間施設の自助努力に加えて、吹田市として独自の保育士確保の打開策を公私協調して検討できないか。</p>	<p>保育士不足の深刻さについては市としても十分に認識しており、そのような中、保育人材の安定的な確保を目的として、吹田市保育士・保育所支援センターを開設し、保育士再就職支援コーディネーターによる吹田市内保育所等へ就職を希望する保育士等への就労支援を実施しているところです。</p> <p>さらなる保育士確保策として、保育士確保のための給付金制度含めた施策の検討を、私立施設の御意見等も参考にしながら、進めてまいりたいと考えております。</p>
10	<p>地域により大きく差があることは、長年のことだが、隣接区域、とりわけ、アクセスしやすい土地に、待機児解消の施策を行ってきたのか。</p> <p>年度により増減はあるが、乳幼児から児童までの（青少年含めても）包括的な施策として捉え、積極的に増加を受けとめる計画・実施が急務ではないのかと考える。また、他部署との連携はあるのか。</p>	<p>保育所整備については、待機児童が多い区域に、保育所等を整備するための土地確保が困難な場合は、隣接地も含めて事業者募集を行ってきた経過はありますが、これまで採択に至ったケースはありません。上記のように適地が無い場合は、今回の北千里保育園跡地の公募のように、市有地を活用した事業者募集を行ってきた事例もあり、引き続き待機児童解消のための施策を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、就学前児童への対応として、児童数の推移については教育政策室と、就労等により保育を必要とする児童への支援については放課後子ども育成課と、会議等により情報共有を行っておりますが、今後も様々な連携を通じて、効果的な支援に努めてまいります。</p>
11	<p>以前よりかなり少ないので安心した。児童部の頑張りの成果だと思う。</p>	<p>待機児童の解消には至りませんでした。引き続き保育人材の数及び質の確保を同時に進めながら、保育枠の更なる確保に努めてまいります。</p>
12	<p>まだ、待機児童がゼロのなったわけではないが、方策の成果が表れてきていると思う。引き続きよろしく願います。</p>	

案件5 令和2年度保育所等整備の公募について

	意見・質問等	回答
13	<p>高齢者福祉施設と一緒にすれば、子供たちの声を聞き、遊ぶ姿を見て、高齢者も元気を貰い、素敵な施設になると思う。</p>	<p>北千里保育園跡地を活用した保育所公募につきましては、高齢福祉施設との複合施設による応募も可としております。高齢者福祉施設との複合となれば、委員の御意見のように、世代を超えた交流が深まっていくことが期待できるものと考えております。</p>
14	<p>北千里保育園跡地利用については賛成である。ただ、民営化に関しては、一旦見直しが必要ではないか。つまり岸部保育園について、再度民営化に関しての見直し等を議案として提出してはどうか。もともとの北千里保育園が結果的に民営化となって、計画上の5園とみなされるのではないかと思う。</p>	<p>「吹田市公立保育所民営化実施計画」に基づき、5園の民営化を決定し、これまでに4園の移管を行ってまいりました。</p> <p>同計画では、公立保育所が適正に配置されることとし、片山・岸部地域の中で民営化する保育所は岸部保育園としております。本年度、改めて移管先事業者の選定を行っていく予定です。</p>
15	<p>今後、減少するであろう山田・千里丘地区との往来が可能な送迎型等を検討していただきたい。</p> <p>コロナ禍により、労働人口減が予想されている（必要保育量の減）。フレキシブルな計画であるべきだと考える。</p>	<p>本市では、子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策により、平成27年度から保育所待機児童対策として保育所等の整備に取り組んでいます。御提案いただきました送迎型保育所につきましては、将来的に就学前児童数が減少し、保育所等の入所枠に空きが出た時には必要になる可能性があります。現時点ではそこまで至っていません。また、費用、安全や責任など課題も多いため、実施にあたっては十分な検討が必要になります。</p>

意見・質問等	回答
<p>16 当時、待機児童問題が出始めていて、北千里保育園を残したまま、こども園を作ってもよかったのではないかという話もあった。今になって保育所として整備するという事になった詳細な説明を聞きたい。</p> <p>例えば、北千里保育園を民営化と見るのであれば、岸部保育園は民営化せず、もうそのままにしておいてもいいのではないか。</p>	<p>はぎのきこども園につきましては、吹田市立北千里保育園と吹田市立古江台幼稚園を統合し、両方の機能を合わせた形で平成30年4月に開所しました。その後、第2期子ども・子育て支援事業計画において、令和2年度以降の必要保育量を算出し、北千里地域では、今後も開発が見込まれていることから、その必要数はさらに増加すると予測しております。待機児童対策については民間事業者により実施しておりますが、当該地域の土地が高額であり事業を行う上で障壁になっていることから、市有地の普通財産を貸し付け、保育所の整備を行うもので、貸付けを行う市有地としては北千里保育園跡地が施設の使用用途等から最適であると判断し、当該跡地において公募を行うものです。</p> <p>なお、民営化につきましては「吹田市公立保育所民営化実施計画」において、公立保育所は市内を6ブロックに分けて各ブロックにできる限り均等な箇所数を配置すること、さらに各ブロックを2つの地域に区分しできる限り1つの公立保育所を配置することとし、民営化園を選定していきました。</p> <p>そこで、千里ニュータウン地域のうち北区分では民営化した場合により安定的・継続的な運営ができる条件の藤白台保育園を民営化園として選定しましたので、北千里保育園は民営化する対象の保育所となっております。その後北千里保育園は、ともに老朽化が進んでいる近隣の古江台幼稚園との幼保一体化（認定こども園化）により、幼保連携型認定こども園はぎのきこども園として建替えし、平成30年度（2018年度）に開園いたしました。</p> <p>また、「吹田市公立保育所民営化実施計画」において、片山・岸部地域の中で民営化する保育所は岸部保育園としておりますので、本年度民営化事業者選定を行っていく予定でございます。</p>
<p>17 待機児童解消のために必要な施策だと思う。</p>	

案件6 吹田市保育士・保育所支援センター事業の実施について

意見・質問等	回答
<p>18 現に求人票を提出している事業所について、その施設名や求人の概略をホームページで見ることができないか。求職者も、それを見ることができたら相談しやすいのではないか。</p>	<p>吹田市保育士・保育所支援センターにつきましては、施設が市へ提出した求人情報を元に、求職者本人と就労支援コーディネーターが相談をし、マッチングを図ったうえで紹介を行っていくものです。市のホームページ上に求人票の提出がある施設の件数や種別、対象職種など簡易な求人情報を月次ごとに掲載していくなど、求職者の視点に立ち、新規の相談支援につながりやすい情報発信に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>19 この事業により、就労希望者と就労先のスムーズな橋渡しとなることを期待する。 また、パートやアルバイトに分類されているのかもしれないが、資格のない人でも、保育補助等で雇用できれば、少しでも多くの人材確保になるのではないか。</p>	<p>当センターでは、資格の有無やパート・アルバイト等の雇用形態に関わらず、求人内容と求職者のニーズにあわせて、幅広く就労支援を行っております。今後は、保育士資格の無い方に対して、保育士試験やセミナー開催の情報提供、施設見学会参加の斡旋など、よりきめ細かに支援を行ってまいります。</p>
<p>20 広報を充実していただきたい。</p>	<p>事業周知につきましては、市報すいた、アイデム等の新聞折り込みチラシ、公共施設でのチラシ配布、出張相談会の開催等により実施しているところですが、今後は、利用者の目線に立って、「情報のキャッチのしやすさ、資料の見やすさ」なども意識し、情報発信の方法にも工夫して事業周知に努めてまいります。また、大阪府保育士・保育所支援センター、養成校等との連携を深めていくことで、さらに事業周知を進め、求職者支援に取り組んでまいります。</p>
<p>21 求職者を募り登録するだけでなく、職場の生の声も聞き、長期的展望を持ち、養成校や関係する学部、団体との積極的な接触を行うようにお願いしたい。不足だから、というだけでは求職者は集まらない。</p>	<p>センター開設前から施設関係者への説明や開設後は養成校との協議を行ってきましたが、今後は、現場の最前線に対応する就労支援コーディネーターが、養成校や関係団体とより多く接触していく機会を作りたいと考えております。求職者数を増やす効果だけでなく、実態を把握していくことで、マッチングの強化や採用後の定着にも繋がっていくような、深みのある支援を目指してまいります。</p>

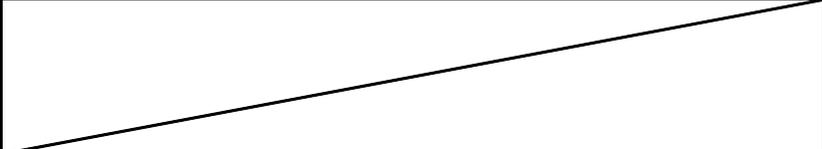
案件7について AI入所選考について

意見・質問等	回答
22 事務処理の効率化により、利用調整が早くなることは好ましいが、一方で新たな課題も生じることが予想される。AI導入について事後の検証をお願いしたい。	AI入所選考は、瞬時に結果が判別できますが、選考前までの入力作業、保育要件の指数化、入力内容のチェックなどケースワーカーである職員の作業は今まで以上に必要となります。そのうえで、関連業務を整理し、業務改善を図りながら、AI入所選考の導入により短縮された時間を選考結果の早期通知、保育所等の入所相談の充実等に活用し、市民サービスの更なる向上につなげてまいります。
23 AI導入は賛成だが、現在の職員が結果的に減ってしまわないか心配である。AIにしてもどこまで信頼性が高いのか分からず、非常時にはやはりマンパワーが必要だと思うので、新卒募集停止のようなことにならないようお願いしたい。	
24 AI導入によって人員削減をした場合に、AIといえども、システムエンジニアを置くなどしないと、いざというときに何もできなくなるので、何らかの保険的な配置が必要ではないか。	
25 AIは本来、人工知能であり、機械的処理だけではない処理ができるものだと考えていたが、実際は採点方式、機械処理が、より進んだだけであり、AIとはかけ離れている。 ケースワークを一方で充実されたい。	
26 IT技術を活用した業務効率化で、良い取組だと思う。利用者も早く通知結果を知ることができ、良いと思う。	

案件8について（令和3年度保育所等利用申し込みの郵送受付について）

	意見・質問等	回答
27	<p>コロナ禍のため、本年は郵送受付になることはやむを得ないと考えるが、利用申込書の内容が複雑かつ多岐にわたるため、本来は対面で保護者とやり取りすることで、記入漏れや記入ミスを少なくし、正しい情報を得ることができると思う。</p> <p>入所内定後の施設側との行き違いも少なくしたいので、コロナ禍の今後の状況にもよるが、次年度は本来の方法に戻るのが良いように思う。事後の検証をお願いしたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、対面での一斉受付は見送りしました。しかし、情報格差が生まれないようにするため、今まで以上に申請書の内容や市ホームページの情報を充実させ、FAQ（よくある質問）の充実も図りました。また、電話やメールを活用した入所相談を積極的に働きかけ、例年以上に相談件数は増加しております。さらに、窓口での入所相談を希望する人には、事前予約制を導入し、窓口での待ち時間を発生させないように対応しております。</p> <p>今後は、さらなる市民サービスの向上を図るため、電子申請の導入も検討しており、引き続き市民側、施設側との情報のやり取りが円滑にできるように工夫してまいります。</p>
28	<p>マイナンバーカードの利用などにより、保育所等利用申し込みがインターネットで申請可能にはならないのか。</p>	<p>マイナンバーを利用した電子申請については、マイナンバーカードの普及率が低いこと、また、記入漏れなどのチェック機能等に課題が多いことから、市独自の電子申請の導入に向けて、検討を進めています。</p>
29	<p>不備だけに限らず、何らかの形で申請をし忘れていた家庭に声をかける仕組みがあるのか。</p>	<p>公平性の観点から提出締切日は厳守となります。</p> <p>そのうえで、情報格差が生まれないように、市報、市ホームページ、各施設での申請書の設置やポスター掲示、子育て情報誌への掲載などできる限りの広報活動は行ってまいりました。また、小規模保育施設等卒園児には、別途、令和3年度保育所等利用申し込みの案内を個別に行っております。</p>
30	<p>現況においては致し方ないと思う。ただ発送遅延等にも対応できるようにお願いしたい。</p>	<p>情報格差が生まれないように、令和3年度保育所等利用申し込みの郵送受付についてはできる限りの広報活動は行っており、公平性の観点から提出締切日は厳守としています。</p> <p>しかし、申請書の印不備や記入漏れ等の軽微な部分は柔軟に対応してまいります。</p>

案件9 令和2年度留守家庭児童育成室入室申請受付児童数について

意見・質問等	回答
<p>31 コロナ禍による学校の一斉休校の間も留守家庭児童育成室は運営を続けていたと承知しているが、不測の事態で指導員の確保等も大変だったのではないかとと思う。実際に、運営に支障を来した事例はなかったのか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校が一斉休校した3/2～3/23、4/8～5/8及び6/1～6/12の期間に留守家庭児童育成室を臨時開室しましたが、幸いにも運営に支障を来すような事例はありませんでした。</p>
<p>32 申請受付人数が大きく増加しており、毎年の報告で「想定を超える児童数の増加」とあるが、これは想定外の増加なのか。 一方で、保育の待機児童対策はプロジェクトチームを設置し、今年度の待機児童数にまで減らしている。また、各地域に私立と公立がうまく配置されている。以前、民間学童保育の誘致についても考えるとのことであったが、今後の増加を考えると早急にすべきだと思う。ここ数年の民間委託一辺倒では解決しないのではないか。</p>	<p>「想定を超える児童の増加」につきましては、事業計画の見直し前のことを指しており、見直し後は概ね想定どおりの増加であると考えております。留守家庭児童育成室の運営には民間活力の活用も重要であると考えており、民間委託に加えて民設民営の育成室の導入についても検討してまいります。</p>
<p>33 民間と公挙げての児童育成を目標に挙げているのに、民間事業への委託を進めていくことは、逆行なのではないか。 待機児解消に努める、そこには一人ひとりの児童のことは考えられていないのか、とさえも思える。公務に戻していてもいいのではないか。</p>	<p>民間委託を進める理由は、不足する指導員の人材を確保することができ、ひいてはそれが次年度に想定している待機児童を解消することができるものと考えております。</p>
<p>34 前年度と比較し、333人増加し、ニーズの高さが分かる。施設・人員の確保、民間事業への委託を進めるようお願いしたい。 資料の見せ方について、単年度の実績だけでは、子ども・子育て支援事業計画の想定範囲なのかどうか分からないので、計画値との比較をできるように、「計」欄の横に計画値とその差を記載してほしい。</p>	<p>資料の見せ方につきましては、いただきました御意見・御指摘を踏まえ、検討してまいります。</p>
<p>35 全ての就学児が入室でき、安全・安心の居場所の確保は必要であるが、前年度と比較すると300人以上増加し、待機児童が発生していること、深刻な指導員不足の現状を考慮し、民間委託、速やかにやるべきことは進めてほしい。</p>	

案件10について 令和2年度留守家庭児童育成室の委託について

意見・質問等	回答
<p>36 留守家庭児童育成室の民間委託が進めばそれなりに指導員不足の解消にはなるが、数値的には根本解決にはほど遠い利用児童の増加率が出ている。委託一辺倒ではないアイデアを出すべきだが、あるのか。</p> <p>また、委託先の決算書を見たが、人件費率の差が大きく開いていること（97%～53.5%）、人件費率の低い法人に剰余金がたくさん出ていること（最大795万円）が気になる。吹田市の留守家庭児童育成室に回るはずの税金が、剰余金として別に回ることがあっていいのか。また、剰余金を発生させてもいいのか。</p> <p>資料だけではつかめない「法人事務経費」などの使途も気になる。委託後の調査をもっと厳しくすべきではないか。</p> <p>年間計画書も見たが、大枠は直営の計画と同様になっており、狙いや詳細がつかみにくく、この点も調査対象にしないと質の低下を招きかねない。調査はどのようにしているのか。また、現行の調査だけでいいのか。</p> <p>そして、コロナ禍で大変な今年度も委託を進め、どのように説明会を開催するのか、引き継ぎ期間中に第二波、第三波が来た場合の対処はどうするのか、たくさん委託の手が挙げられた場合、施設見学をしても大丈夫な根拠はあるのか。それらを保護者にはこう説明しています、と資料に記載していなければならないのではないかと。審議ではなく承認機関のよう資料としての不足を感じる。</p> <p>西山田の委託について、「保護者が入れ替わったから」と課の人に言われたとのこと。それが理由になるのか。</p> <p>付け加えて、保護者の多くは、西山田保育園の民営化のことで、多くの労力を費やしてきた。再び、その負担をかけることになっている。西山田地域は幼稚園の廃園、給食の民間委託、保育園の民営化、そしてこの民間委託と、地域の偏りを感じる。もう少し選び方にも説明があってもいいと思う。</p>	<p>確かに民間委託の推進だけでは指導員不足の抜本的な解消になるとは思っておりません。他のアイデアについて来年度中には新たな方策を講じたいと思っております。</p> <p>委託事業者の決算につきましては、人件費の比率が低い事業者は委託を更新する際の評価において点数が低くなりますが、今後は、それ以外にも決算について事業者に聞き取りや指導を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、保護者への説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症への対策を適切に講じたうえで行う予定であり、事業者への見学会につきましても事業者が育成室に入ることなく行える方法を検討してまいります。この取り扱いを資料に記載していなかったことにつきまして、説明が不足しており申し訳ございませんでした。</p> <p>なお、西山田育成室を委託候補として選定しましたのは、主として、指導員の欠員解消に一定の効果が見込まれること、教室確保の見通しがあること等が理由です。</p>

意見・質問等	回答
<p>37 現在、コロナ禍において委託先保護者会が説明会等に戸惑っていると感じている。せめて今年度は本来ならば見送ったほうがいいのではないかと聞いている。</p>	<p>本市としましては、留守家庭児童育成室の指導員不足は喫緊の課題と捉えており、全ての育成室の安定的な運営と待機児童の解消を図るためには、現在進めております運営業務委託事業は先延ばしできない施策であると考えております。</p> <p>運営業務委託に係る保護者への説明会の開催に当たりましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、本市の感染対策チェックリストに基づき、会場の換気、参加者等の身体的距離の確保、会場入口等での手指消毒やマスクの着用をお願いするとともに、会場のドアノブや机・椅子等の消毒を行うなど必要な対策を講じたうえで、多くの方に御参加いただき、事業の内容について御説明させていただきたいと考えております。</p>
<p>38 子供たちが安心して過ごせる事業者の選定をお願いしたい。</p>	<p>事業者の選定につきましては、事業の質を低下させないよう、選定等委員会で適切な事業者を選定してまいります。</p>
<p>39 保育に必要な指導員の確保が困難となる中、民間委託を着実に進め、安定的な運営に努める必要がある。延長保育等メリットは大きい。</p>	<p></p>